

東北地方 1か月予報

(5月20日から6月19日までの天候見通し)

平成18年5月19日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

東北太平洋側を中心に2週目は低温となる可能性が大きいでしょう。

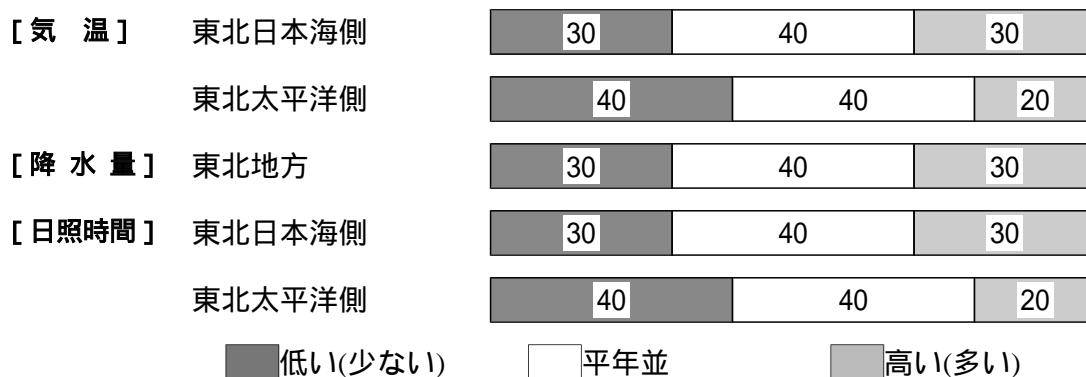
<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変化しますが、東北太平洋側では2週目を中心にオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、平年に比べ曇りの日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

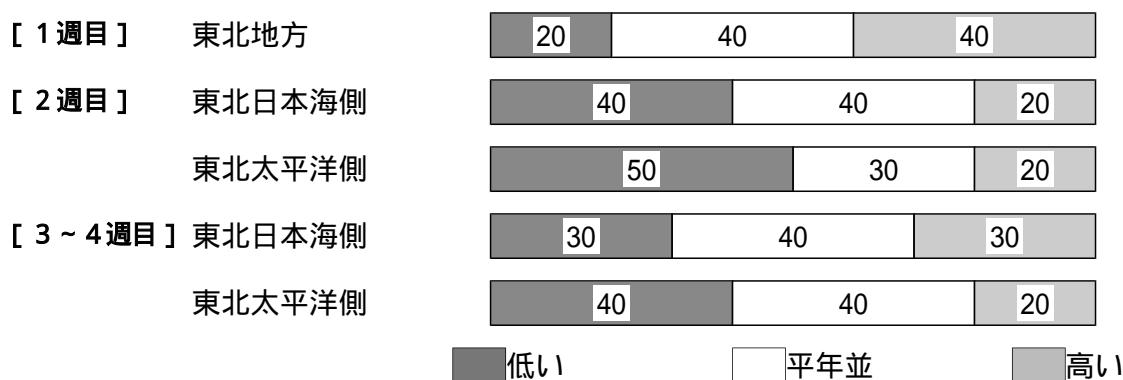
向こう1か月の平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か低い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は東北地方で平年並か高い、2週目は東北日本海側で平年並か低い、東北太平洋側で低い、3~4週目は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か低いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月	：	5月20日(土) ~ 6月19日(月)
1週目	：	5月20日(土) ~ 5月26日(金)
2週目	：	5月27日(土) ~ 6月2日(金)
3~4週目	：	6月3日(土) ~ 6月16日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は5月26日

3か月予報：5月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	16.1	154.4	182.4	14.6	15.5	16.8
新庄	17.2	101.6	180.2	15.3	16.6	18.2
若松	18.4	79.2	190.9	16.4	17.8	19.4
深浦	15.7	104.0	199.6	13.8	15.1	16.5
青森	15.6	79.2	203.5	14.0	15.1	16.4
むつ	14.4	100.6	192.1	13.0	13.9	15.1
八戸	15.1	91.9	196.1	13.8	14.7	15.7
秋田	17.2	113.3	199.7	15.1	16.5	18.2
盛岡	16.7	102.8	180.9	14.8	16.0	17.7
宮古	15.0	101.0	171.9	13.7	14.6	15.6
酒田	17.8	104.3	202.9	15.8	17.2	18.8
山形	18.3	77.8	190.1	16.4	17.7	19.2
仙台	17.2	106.8	171.1	15.8	16.8	17.9
石巻	16.4	90.2	184.1	14.8	15.9	17.2
福島	18.9	84.8	172.2	17.4	18.5	19.6
白河	17.3	133.3	163.0	15.7	16.8	18.1
小名浜	17.2	125.4	177.2	15.8	16.7	17.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.3	84 ~ 111	93 ~ 109
東北日本海側	-0.4 ~ +0.3	81 ~ 115	96 ~ 108
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.4	83 ~ 109	91 ~ 110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.7 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成18年5月19日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月20日~6月19日):

天気は数日の周期で変化しますが、東北太平洋側では2週目を中心にオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、平年に比べ曇りの日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は東北日本海側では平年並、東北太平洋側では平年並か低いでしょう。

1週目(5月20日~5月26日):

期間のはじめに高気圧に覆われて晴れの日がありますが、その他の日は気圧の谷や前線の影響で曇りや雨となるでしょう。なお、20日は低気圧や前線の影響による大雨に注意が必要です。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(5月27日~6月2日):

低気圧やオホーツク海高気圧の影響を受けやすいでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は東北日本海側で平年並か低い、東北太平洋側で低いでしょう。

3~4週目(6月3日~6月16日):

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北日本海側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

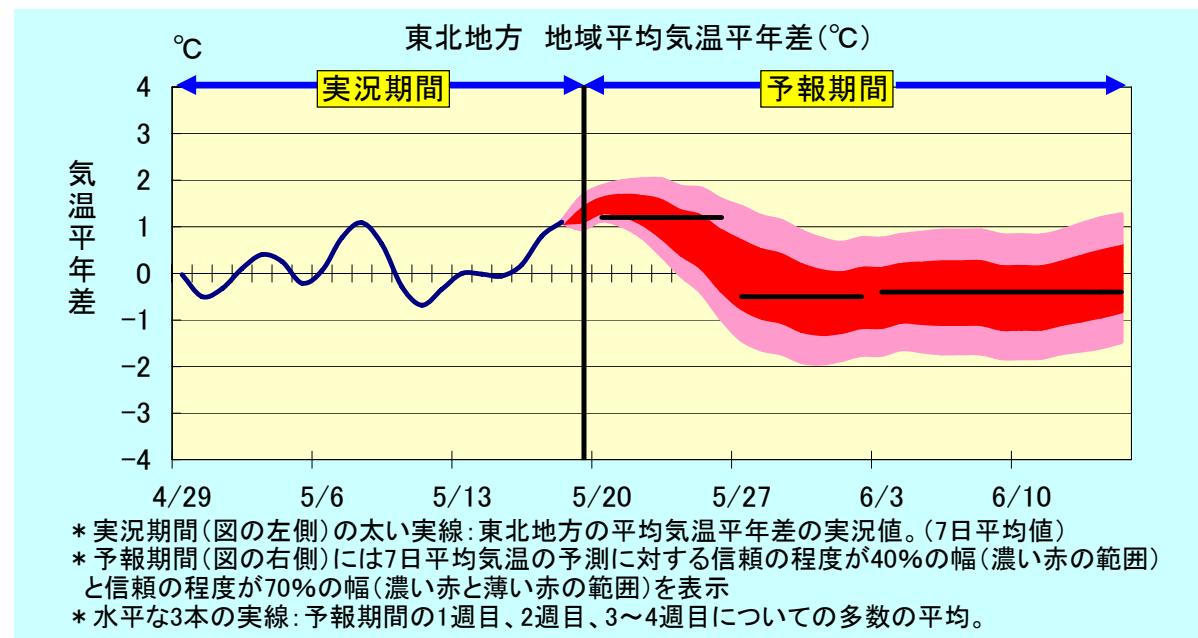
平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.6日	3.8日	4.3日	7.5日
東北太平洋側	14.7日	3.9日	4.2日	6.6日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目、3~4週目は、「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から、1週目を「平年並か高い」、2週目の東北日本海側を「平年並か低い」、東北太平洋側を「低い」、3~4週目の東北太平洋側を「平年並か低い」とする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

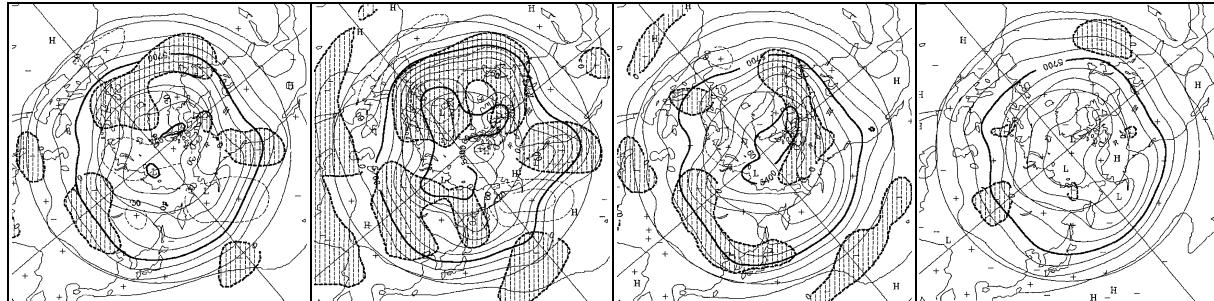


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は正偏差（暖気に対応）に覆われる。バイカル湖の東に強い正偏差が見られ、その付近では偏西風はやや分流。

1週目は、日本付近は南海上に中心をもつ正偏差となる。偏西風の流れは東西流。2週目はチベット付近から日本付近にかけて帶状に負偏差となっており、偏西風が広い範囲で南下することに対応。一方オホーツク海からシベリアにかけては弱い正偏差で、日本付近の偏西風は分流傾向。3～4週目は北半球全域で正偏差。オホーツク海付近からシベリアにかけて正偏差の中心が見られる。



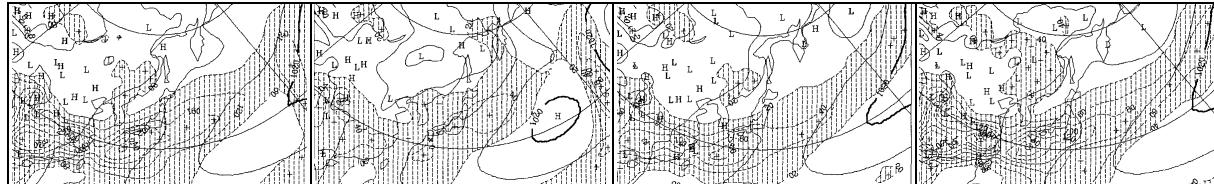
500 hPa 高度予想図（左から）1か月平均、1週目平均、2週目平均、3～4週目平均

実線：等高度線（間隔 60m）、点線：平年差（間隔は1か月 30m、週別 60m）、陰影部：負偏差域（一般に寒気に対応）

地上気圧と降水量：

月平均では、本州南部が相対的に低圧部。オホーツク海付近はやや高圧部となっている。華南から日本の南海上にかけて明瞭な降水域が見られる。

1週目は、太平洋高気圧の北へ張り出しが強く、降水域は本州全域にかかる。オホーツク海からシベリアにかけては低圧部。2週目は、太平洋高気圧は弱まり、降水域は北緯 30 度付近まで南下。オホーツク海付近は弱いながら高圧部となっており、その影響を受ける時期がある見込み。3～4週目は、太平洋高気圧がやや強まり、降水域も北上。華南から本州の南海上にかけてはまとまった降水域が見られる。



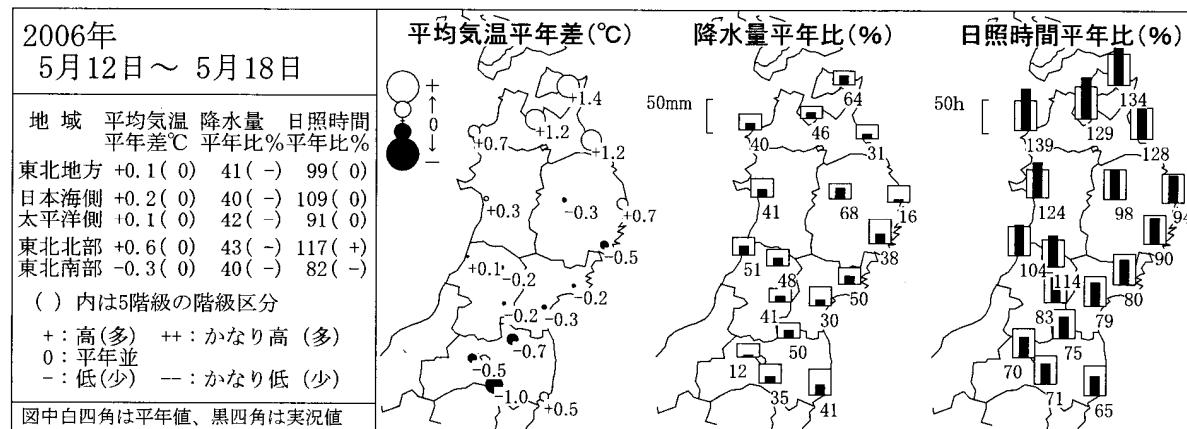
地上予想天気図（左から）1か月平均 1週目平均 2週目平均 3～4週目平均

実線：等圧線（間隔 4 hPa）、陰影部：降水域（1か月 80mm 以上、1週目・2週目 20mm 以上、3～4週目 40mm 以上）

4. 最近1週間（5月12日～5月18日）の天候の経過

この期間、東北北部は高気圧に覆われる日が多くたが、東北南部は本州南岸に停滞した前線の影響を受けてぐずついた天気となる日が多くた。13日は本州南岸を進んだ低気圧の影響で東北地方は全域で雨が降った。気温は期間の前半は低かったが、後半は高かった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）